



ぶま

No.100

発行日：令和4年7月25日
発行者：大湊高校渉外部



大高 文化の祭典 笑顔輝け 青春 Festival

～ Be together as one ～



大高のマスケットキャラクター「みなっぺ」が吹奏楽のファンファーレと同時に文化祭に駆けつけてくれました。そして、文化祭の開催に花を添えた吹奏楽のパフォーマンス。文化の祭典にはやはり吹奏楽の演奏は欠かせないものであり、演奏のひとつひとつが会場の雰囲気盛り上げていました。



マスケットキャラクター「みなっぺ」

七月十六、十七日の二日間、三年ぶりに観客を入れ大高祭が開かれました。残念ながらねぶた運行は、天候不順のためやむなく中止になりましたが、生徒たちは準備から大高祭を盛り上げようと頑張っていました。また、来校できない保護者の皆様のために、初の試みでZOOM配信を行いました。



HRの展示部門は、定番の縁日やお化け屋敷、アトラクションとHRの個性の結果を感じ取れる展示でした。部活展示は美術部、写真部、部員の作品を鮮やかに展示していました。また教科や委員会の展示では家庭科、書道科、図書委員会が展示に参加しました。まず、家庭科では、生徒が製作したティンピアをコンテスト形式にして出来栄の良さを選んでいました。また、図書委員会では



部・教科の展示

今年の三年次の模擬店は、一組が焼きそばやワッフルアイス。二組がトーストやカーリーポテト。四組が焼きとりやピザを出店していました。そして、特別出店でALITのイアン先生がトルティーヤを出店し、文化祭の企画を盛り上げていました。生徒たちは、それぞれの特徴を出しながらアピールしていました。



模擬店の様子



ステージ発表の様子

今年、吹奏楽や演劇、カラオケ大会、有志発表など、様々な舞台が繰り広げられました。吹奏楽では、ソロやパフォーマンスなどを織り交ぜ、変化に富んだ演奏を聴かせてくれました。演劇はオリジナルの脚本で、会場を大いに沸かせていました。また、今年も久しぶりには有志発表も行われ、ドラムソロや、ギターとの共演でライブ会場の熱気が伝わるようでした。



13 HR 展示



22 HR 展示

は委員の生徒が読んだ本の紹介とポップを作成していました。そして最後は書道科の展示です。恒例の文字コンテストも同時に開催され、生徒や先生方の作品が一堂に陳列されていました。

頑張れ大高生

陸上部インターハイ出場者・甲子園予選・水泳部東北大会壮行式



7月6日に甲子園予選、水泳東北大会、陸上競技インターハイ出場者への壮行式が開かれました。高校総体壮行式に引き続き、3年ぶりに全校生徒からの激励を受けた壮行式でした。インターハイを除き、今号が発行される時に結果が出ている可能性もありますが、良い結果に恵まれることを期待しています。硬式野球部は、コロナ禍で行動が制限を受けた期間を乗り越えながら「下北から甲子園」という思いを胸に日々鍛錬を重ねてきました。水泳部も県選手権大会を勝ち抜いた4名が東北大会へ進みました。陸上競技でインターハイに出場する2名は、東北大会の狭き門を通過しました。どの部の選手も日々の厳しい練習の成果をいかに発揮してくれるはずです。

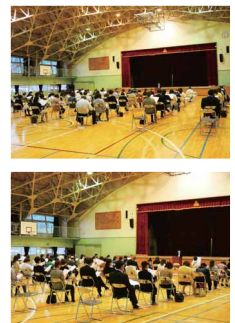
年次集会開催

～修学旅行説明会、推薦受験集会～

一年次

一年次主任 飛内 尚人
6月29日(水)に令和5

年度の修学旅行説明会が行われました。約90名の保護者が参加され、日程などを旅行会社から説明を受けました。来年度の修学旅行はコロナ感染症対策として自主研修を行わず、例年より1日少ない3泊4日としましたが、生徒がより安全で楽しめるものになっていきます。生徒にとって特に想い出に残る行事でもあるので、無事に開催できるように努力していきます。



二年次

二年次担任 野宮 陵

6月22日(水)に「修学旅行保護者説明会」をプラザホテルむつにて実施しました。お忙しい中、80名ほどの保護者の皆さまにご出席いただきました。

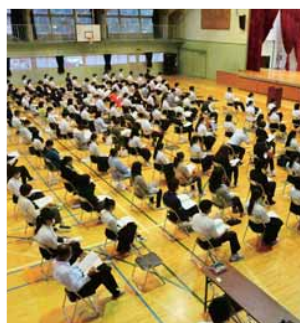
2年次保護者・担任団の協力・連携による修学旅行の実施ができればと思っております。また、生徒それぞれの進路状況の説明も合わせて報告され、現段階での進路希望を保護者と共有しました。保護者の皆様、今後ともよろしくお願い致します。



三年次

三年次主任 小出健太郎

5月12日(木)に生徒・保護者対象「就職希望者針路説明会」、6月30日(木)に生徒・保護者対象「総合型・学校推薦型選抜入試に係る説明会」をそれぞれ本校体育館にて実施いたしました。ご多用にもかかわらず延べ100名近い保護者の皆さまにご出席いただき感謝いたします。進路活動が本格化する中、学校での指導は勿論、ご家庭でのサポートも必須となります。何卒、ご理解とご協力を賜りたいと思います。よろしくお願いいたします。



編集後記

無事に今年度2回目の「いぶき」を発行することができました。そして今号でめでたく100号目の発行となりました。ひとえに読んでいただいている皆様のおかげです。ありがとございます。なるべくタイムリーな話題を掲載していきたいと思っておりますので、これからも「いぶき」をよろしく願っています。

(文責・葛西)

